

採血を受けた幼児が「がんばった」と 実感できるケア方法【第2回】

研究課題/領域番号：20K19133 研究種目：若手研究

研究課題：採血を受けた幼児が「がんばった」と実感できるケアの標準化と効果の検証

研究代表者：浅利 剛史

「がんばったスケール」を使ってみてどうでしたか？

- 幼児からどのような反応があったか教えてください。

「がんばったスケール」を使ってみてどうでしたか？

- 幼児の属性（年齢、採血経験の有無）などによって「がんばり方」が違いかもかもしれない。
⇒ 幼児前期と幼児後期では違う（可能性）。
- 幼児の「がんばった」を支援したい。
⇒ 看護師の振る舞いによって幼児の「がんばった」行動が増える可能性

結果（レーダーチャート）

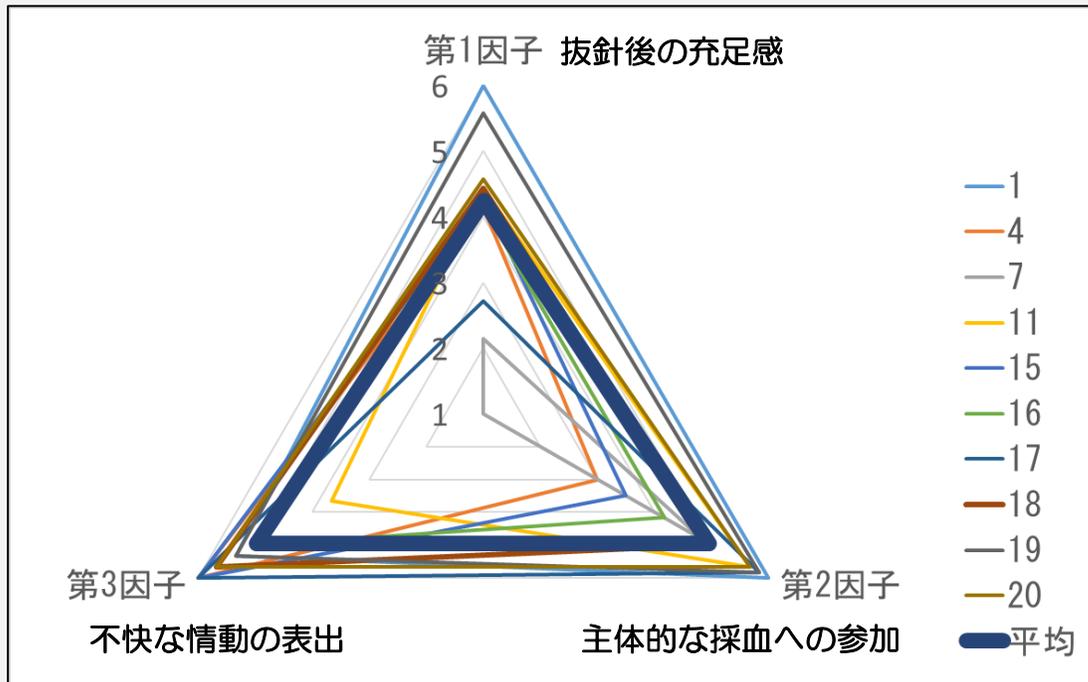


図1 低年齢群の3因子の平均得点

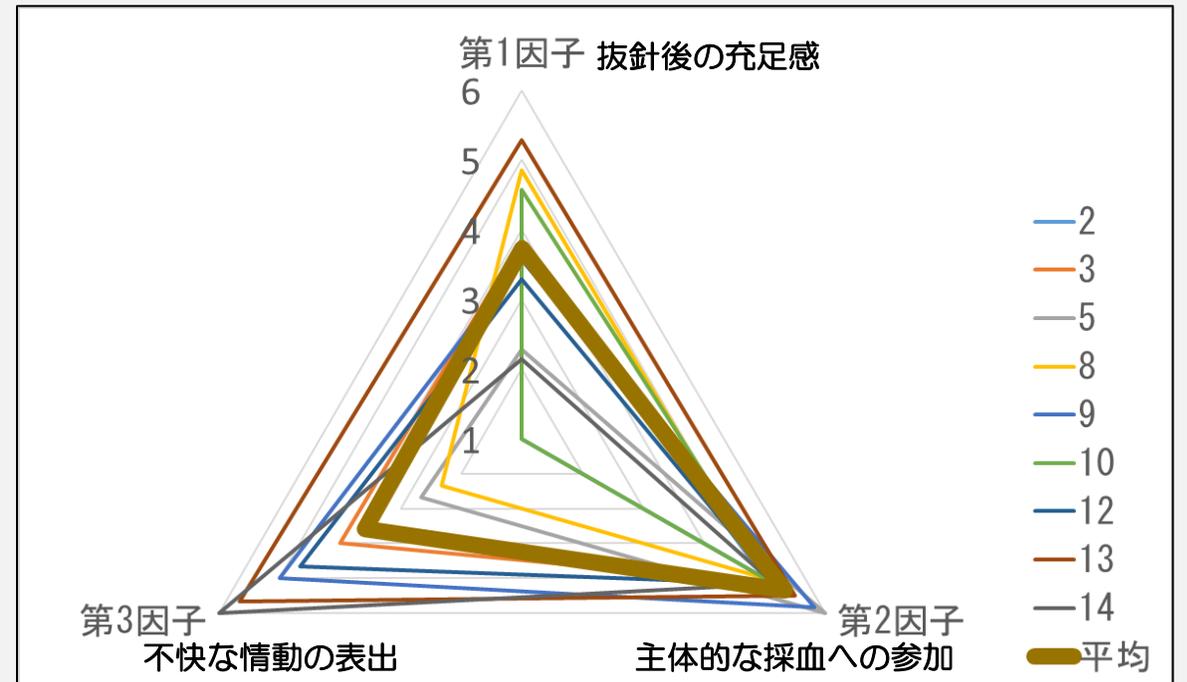


図2 高年齢群の3因子の平均得点

採血を受けた幼児が「がんばった」と実感できるケア

- 「がんばったスケール」をもとに
- 小児専門病院の外来での採血場面の観察を通じて
- 看護師が実践している採血を受けた幼児が「がんばった」と実感できるケアを作成した

(佐川雅世, 浅利剛史, 草薙恵, 他(2022): 採血を受ける幼児の「がんばった」言動を支援する看護師の関わり. 日本小児看護学会誌, 31(1), 94-101)

【がんばれる雰囲気醸成】

幼児の人権を尊重した振る舞い

励まし

幼児の情動表出に対する共感の声掛け

関係構築のためのアプローチ

幼児の要望への応答

幼児との約束

【幼児の気持ちに寄り添った情報提供】

採血の処置内容に関する情報提供

痛みに関する情報提供

進捗状況の提供

これから実施することの情報提供

幼児がしてもよいことの情報提供

【幼児の主体性を促すための提案】

選択肢の提示

採血に関して幼児に協力してほしいことの提案

【幼児の理解を促し確認する質疑応答】

幼児の処置の理解度を確認する問いかけ

処置経験の問いかけ

痛みの問いかけ

許可をもらう問いかけ

【幼児のがんばりに対する称賛】

幼児の採血に向かう態度の称賛

できていることを維持してもらうための称賛

採血の自己効力感をもてるようなできたことへの称賛

ご褒美を通じた称賛

【幼児の特性に合わせた ディストラクション】

採血とは関係のない雑談

緊張緩和のための提案

遊びへの関心の転換

視覚情報の制限

採血を受けた幼児が「がんばった」と実感できるケア

- 皆さんがこのカテゴリーを見てみて、実際に採血時のケアに臨む場合、具体的にどのようなケアが思い浮かびますか。
- 思い浮かんだケアを教えてください。

採血を受けた幼児が「がんばった」と実感できるケア

- 皆さんがこのカテゴリーを見てみて、実際に採血時のケアに臨む場合、具体的にどのようなケアが思い浮かびますか。
- 思い浮かんだケアを教えてください。

次回（インタビュー）までのワーク

1. 採血場面（採血者でも介助者でもOK）で採血を受けた幼児が「がんばった」と実感できるケアを行う。
2. 採血場面におけるケアを質問紙を用いて振り返る。
3. 採血場面における幼児の言動を質問紙を用いて振り返る。